



Kakera
カケラ

「“答え”のない問い」を大切にする
新しい教育の場

メールアドレス（お問い合わせ）
kakera.site@gmail.com



公式Twitter (X)
@KakeraSite

公式HP
<https://kakera.site/>



イベント情報・お申込みは“こくちーず”にて
<https://www.kokuchpro.com/group/kakera/>



Kakera's Concept

『“問い合わせ”が人を育てる。』

Kakera～カケラ～は、答えを押しつけず評価せず、ただ問い合わせに触れる時間と空間を提供する場所です。

ここでは正解を探す必要も、結論をまとめる必要もありません。

自分自身に向き合い、他者の言葉に触れ、小さな揺らぎや違和感を感じる体験を大切にします。

Kakera～カケラ～=“対話”を重視する教育機関

About Kakera

Kakera～カケラ～は、答えを教えるための場所ではありません。

考え方を押しつけたり、正しさを競ったりすることもありません。

ここで大切にしているのは、人が自分の考えや感覚と、

もう一度ゆっくり向き合える時間です。

“分からぬ”に気付くこと。考えが揺れること。

言葉にならない違和感を抱えること。

それらは、未熟さではなく、

思考が動き出している兆しだと、

私たちは考えています。

Kakera～カケラ～では、結論を急がず、評価や正解に縛られない環境の中で、

対話を通じて、問い合わせを持ち、考え続ける力を育てています。

Kakera～カケラ～の5つの価値観

Kakera's value

①

すべての問い合わせを尊重し、対話を通じてそれ

②

答えを押しつけない・感覚や考え方の違いを尊重すること

③

急がないこと

④

ひとりひとりのペースを大切すること

⑤

学びを問題の解決に繋げていくこと

Kakera～カケラ～の二大教育スタイル

広がる時間

-Kakera Explore-



- ・世界が広がる、複数人での対話の時間
- ・映画/本/日常のテーマをきっかけに対話
- ・ある程度自由な議論を尊重し、必ずしも結論を求めない
- ・参加者同士の言葉に触れ、自分や他者の考え、感覚に気づく

例) テーマ型対話会 : Kakera Talks

題材例

映画: 『マトリックス』など哲学的作品
書籍: 哲学書や小説、絵本など

深まる時間

-Kakera Develop-



- ・自分と向き合う、1対1での対話の時間
- ・自分に生まれた問い合わせから、学びに落とし込む対話
- ・マンツーマンで寄り添いながらも、必ずしも答えは与えない
- ・継続的に問い合わせと向き合い、思考や行動の変化をサポート

例)
家庭教師型学習 : Kakera塾

個別対話相談 : Kakera Consultant

Kakeraでは、問い合わせ時間 (Explore) と、問い合わせ時間 (Develop) が自然につながります。

代表プロフィール

Profile of Kakera's Representative

Ryo(りょう)

哲学者、教育家。

国際基督教大学 教養学部 哲学メジャー卒。

古代ギリシャにおけるストア哲学を専門とし、哲学の現代における教育的適用の可能性を研究。在学当時よりアカデミア（学問界）における対話を通じた教育の不足に問題を感じつつも、卒業後に一度は某大手外資企業に就職する。しかし、会社員として働く中で、組織の発展や個人の成長における、哲学的な対話の不可欠性を改めて強く認識したことで、かつての想いを諦めきれず一念発起し教育家へと転身。現在は「“対話”が世界を切り拓く。」をモットーに教育プラットフォーム《Kakera～カケラ～》を運営し、哲学的対話を広める活動をしている。学生向け家庭教師や発達障害系座談会、予約制の個別相談など活動は多岐に渡り、これまで主催したイベントは約150回を数え、述べ2,000人以上の方が参加した。